

銘傳大學 98 學年度研究所碩士班招生考試

應用日語學系碩士班

第二節

日文翻譯試題

(第 1 頁共 1 頁) (限用答案本作答)

可使用計算機 不可使用計算機

問題

一、次のテーマと文章を中国語に訳しなさい。(計 60 点)

1. 本多勝一『冒険と日本人』(10 点)

月に立ったアポロ飛行士アームストロングは、その第一声として「人間としては小さな一歩だが、人類にとっては巨大な躍進である」と語った。これがいったい、初めて月に到達した人間の、素直な言葉だろうか。「や、土は案外かたいぞ」とか「なんだ、べつに心配したほどのことはなさそうだ」とか、あるいは「ブラボー」とか、本当に彼の言いたいままにしておけば、もっと人間的な感動があったに違いない。だいたい、あのときの、メッセージか何かを読むような不自然な語り口。

2. 坂川山輝夫『頭をやわらかくする本』(10 点)

踏切りの半ばまで渡った老婦人に、「危ない!! 電車がくる!!」と声をかけると立ちすくんでしまうことがある。これに似たことで誰でも経験するのは、駅で階段を駆け昇って、発車ベルの鳴っている電車に乗れるか否かと一瞬たじろいだから、ドアの前に駆け寄ると無情にもドアがしまつてガッカリすることがある。これらの場合に立ちすくんだりたじろいだりしないで足を踏み出せば怪我することもなし、電車にも乗れたのである。

3. 施設にいる老母 (40 点)

母は車椅子のなかに背を丸め、かたつもりのようにうずくまっている。秋晴れの日曜日である。私はベッドから母を抱き起こし、「さあ、虫干してこようね」といって、車椅子に彼女をのせ、施設の庭を散歩している。母は八十六歳である。二年ほど前から下半身が動かなくなり、おむつをするようになった。ときを同じくして、特別養護老人ホームのお世話になっている。毎週、日曜日になると、私は片道、車で一時間余りの母のもとへ見舞いに訪れる。

「お元気? お食事はおいしい? よく食べられる?」

母はうなずく。耳が遠くなったせいもあり、自分から口を開くことはまったくくない。同室の仲間とも話さない。ことばを口から出すのさえ面倒になったらしい。二年前までは、新聞や雑誌をよく読んでいたし、テレビにも興じていた。いまはすっかり活字離れをしてしまい、日がな一日ベッドの上に転がっているだけである。笑うでもなく、嘆くでもない。人間としての感情を表すことを忘れてしまった生きものが、ぼつねんと彫刻のようにベッドの上に置かれている。彼女の世界はたった、たたみ一枚の空間でしかない。

「何かほしいものはない?」

「歩きたい。歩いてあなたの家に行きたい」

このことばは私の胸に痛い。ただそれだけのことが、いまの自分にはできないのがつらいのである。母を捨てたという気持ちが深く心をえぐる。仕事をもたず、さらに、母のための一室が確保できるならば、家で世話をすることもできよう。私の現状はそれを許さないものである。

車椅子を押して施設の広い庭を散歩させながら、「これなんの木か分かる?」と聞く。

「柿の木」と答える。

「きれいに色づいたわね。先週はまだ青かったのに」

庭にはみどりが豊富だ。柿、栗、椎の木などがいっぱいだ。どんぐりを拾って母の手にのせる。母はそれをじっと眺めて、「どんぐり」とつぶやく。透き通った風が過ぎる。

二、次のテーマと文章を日本語に訳しなさい。(計 40 点)

1. 大陸観光客來了! (20 点)

「口膠是口香糖，方便麵是泡麵；土豆是馬鈴薯，可不是花生米；酒店是餐廳或飯館，台式計算機是我們的桌上型電腦……。」在觀光局舉辦的導遊培訓課程中，講師希望導遊要熟習兩岸日常用語的差別，以免「雞同鴨講」，最好還能秀上一段大陸民眾最愛的順口溜，拉近彼此距離。
(台灣光華智庫 2008 年 8 月)

2. 這種工，你也打? (20 点)

根據勞委會 2006 年的大學生打工情況調查，大學生打工的工作類型多半集中在餐廳服務生、課輔老師、行政助理等工作。但俗話說得好，360 行，行行出狀元，各行各業其實都有自己的「一門學問」。隨著社會的多元化，現在學生打工的類型愈來愈活潑新奇，許多意想不到的社會體驗就此展開……
(台灣光華智庫 2008 年 8 月)

試題完